



炬火を掲げていざ謳う

No.68



我々の泉鳥取

2023年12月22日(金)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

地域連携の核となった

学校設定科目「ボランティア」

2006～2016

1999(平成11)年に、文部科学省は『学習指導要領』を改定しました。この当時、地域と連携することを学校の中心的な課題としていたため、「地域活動」という学校設定教科を設定し、科目として「ボランティア」を設定しました。当初2年間は教育課程に載っているのみでしたが、2006(平成18)年度、地域連携の核として学校設定科目「ボランティア」が活動を始めます。写真は2013年、朝日幼稚園での取り組みです。



教科「地域活動」(学校設定教科)の「ボランティア」(学校設定科目)は、2003(平成15)年度改訂の教育課程に設定されていましたが、受講希望者が少なくないうえに、具体的に担当する教職員も確定できず、開講されていませんでした。

2004(平成16)年度、担当できる教員が転入されてから、科目の内容が具体化されるようになり、2006年(平成18)年度3年3単位選択科目として1講座が開講されました。

2時間連続の授業を活用し、地域の幼稚園や老人ホーム、障がい者の作業所等を訪問してボランティア活動を行い、あとの1時間でボランティア関わる考え方や事例研究、手話講座を実施する科目でした。初年度は20名の受講者で始まりました。特別非常勤講師

に来ていただき、担当者2名で展開しました。導入当初から外部講師や実習先の選定には阪南市社会福祉協議会との連携を密にしました。

実習先として、阪南市立はあとり幼稚園、朝日幼稚園、わんわん保育園、玉田山老人ホーム、石田保育所、ワークセンタぼけっと、障がい者就労支援施設マジックブルームなど多岐にわたり、さらに阪南岬こどもまつり、はあとりふれあいフェスタなど様々な施設に協力を得て、まさに泉鳥取高校の地域連携の核として機能していましたが、受講希望者の減少と担当教員の転出等で2016(平成28)年度を最後に10年の取り組みを終了しました。その後は家庭科、農園部の取り組みとして、朝日幼稚園との連携は2021年朝日幼稚園の閉園(はあとり幼稚園との統合)まで続きました。